



▲消防団員のほかOB、地域住民も多数出席しました

消防団第9部(仲塔)が部旗納め式

3月26日、仲塔生活改善センターで消防団第9部(吉田一弘部長、団員8人)の部旗納め式が行われました。同部は、仲塔地区に昭和13年に編成された伝統ある消防団。近年は少子高齢化等の影響により団員が減少し、厳しい状況で防災活動を行ってきました。昨年から消防団や公民館と協議を重ねた結果、隣接する第1部(鹿野遊)に統合されることが決定。今年4月1日から新体制の自主防災組織として活動することとなりました。

部旗納め式には、同部の消防団員や村関係者、地域の方々が多数出席。16代目を務めた吉田部長は式の中で「今回の決断は非常に難しかったし残念なこと。しかし、地区住民の生命と財産を守るためには必要であり、統合しても当地区には7名の団員がいる。新体制にぜひ期待してほしい」と話しました。



▲村長室を訪れた宮崎学園高校吹奏楽部の皆さん

宮崎学園が災害義援金

3月30日、宮崎学園高校吹奏楽部(佐藤一哉顧問 部員43人)の関係者が役場村長室を訪れ、台風災害の義援金を送りました。これは、同校が今年1月に宮崎市民文化ホールで行ったチャリティコンサート「第2回定期演奏会」の収益の一部を、本村の台風災害復興支援にあててほしいと送ったものです。

村長室を訪問した佐藤顧問と今年3月に同校を卒業した海老原沙希さん、綾部ちささんの3人がコンサートの様子を村長へ報告し、義援金を手渡しました。村長も感謝しながら災害復旧工事が始まったことなどを説明し、同時に今年11月に行われる平家まつりでの演奏もお願いしました。



▲街頭キャンペーンを行った関係者の皆さん

春の交通安全キャンペーン

4月6日、国道327号沿いの村物産センター前で「春の全国交通安全運動」の街頭キャンペーンが行われました。これは、村交通安全協会が主催したもので、同協会関係者や交通指導員などが、通行中のドライバーにチラシや手作りのお守りを配って、交通安全を呼びかけました。

今回の重点事項は「2輪車の安全利用の推進」、「シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」、「交差点マナーアップの推進」の3点。運動期間は10日間でしたが、現在、災害復旧工事や観光シーズン到来で大型車両や村外車の交通量が増えてきています。ドライバーの皆さんは交通事故防止にご協力ください。



▲いきいきとした表情の新1年生(松尾小)

村内の小学校で入学式

4月8日、村内の各小学校で入学式が行われました。今年の新1年生は22人。それぞれの学校で、新入生氏名点呼や在校生の歌などによる歓迎があったほか、先生や地域の方々からもお祝いの言葉が贈られました。8人の新入生を迎え入れた松尾小(高崎稔校長 児童39人)では、6年生が学校生活の様子や楽しい年間行事を手書きのイラストでわかりやすく説明。新1年生は瞳を輝かせて聞き入っていました。

また、同6日には7つの保育所児童館で入園式、同7日には2つの中学校(新入生27人)で入学式が行われました。

